



町と商工会、金融機関などが連携した総合的相談窓口



すぎもり けんじ 杉森 賢二 議員

Q いじめ、虐待、問題行動の状況把握と対応は

A 各機関が連携し情報収集や事案対応をしている

**小中学校の教育環境
充実に向けて**

問 いじめ、虐待、問題行動など、状況の把握方法とその対応は。

教育部長 アンケートや聞き取りで状況を把握し、各校において早期対応に努めている。それ以外の事案は、校長会や教頭研

修会、いじめ問題対策連絡協議会などで情報を共有し、対応を協議している。虐待は、警察や児童相談所、民生委員、児童委員などの関係機関で構成する要保護児童対策地域協議会で、虐待のおそれがある家庭に各機関が連携し情報収集や事案への対応をしている。

問 特別支援学級の児童・生徒、教員および補助員、通級指導の状況を踏まえた、教育環境充実に向けた対策を。

部長 コミュニケーションスキルの向上など、一人ひとりに丁寧な支援を指し教育活動を行っている。近年、特別支援学級への入級や支援を必要とする児童・生徒が増加傾向にある。現状を見極め、児童・生徒の将来を考えたきめ細やかな支援をしていくために、特別支援教育補助員の増員など、考えていく。

Q 町内中小企業・小規模企業への町の支援策を

A 経済産業省・総務省認定を目指し準備している

**町商工会との連携で
地域経済の活性化を**

問 産業競争力強化に基づく「創業支援事業計画」認定で地域創作的起業補助金などの活用を。

産業振興課長 8月の経済産業省・総務省認定を目指して申請の準備をしている。多くの事業者に

地域創作的起業補助金や創業支援事業者補助金を活用していただきたい。

問 町と商工会が設置する経営相談窓口の目標と運営は。また、どのような相談を行うのか。

課長 中小企業や小規模事業者の様々な相談に対して、解決までの道筋を

提示ができる総合的な相談窓口を、町と町商工会、金融機関などと連携して7月に役場北館2階に創設する。

問 リーサスなど、ビッグデータ活用で地方創生のICT長泉モデルを。

課長 地方創生には、地域の現状を正しく把握す

ることが重要で、リーサスは数値化したデータを客観的に比較することができる。どの産業が付加価値や雇用を多く生み出すか、どのような支援が必要かなど検討に役立たたい。今後、政策立案の検討や施策の効果検証に活用したい。

※リーサス (RESAS) …産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のいわゆるビッグデータを集約し、可視化を試みるシステム。

※ICT…Information and Communication Technology=情報通信技術